

## 助成事業実施報告書

団体名...特定非営利活動法人 ドレミの仲間  
代表者・役職名 氏名 施設長 向山 恵美

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

『感じる音楽ワークショップ「ドレミの仲間」  
あなたもわたしもミュージシャン!!発表会&コンサート』

### 2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

1989年に、養護学校の中学生5人に音楽指導を求め、保護者からの依頼があり始めました。音楽を楽しむ人数が増え、地域活動デイグループとして活動してきました。2012年に特定非営利活動法人の認可を受け、現在に至ります。

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

「ドレミの仲間」は、通常は障害児・者の余暇活動として音楽を指導している施設です。障がいをお持ちの方は、学校や職場と自宅の間のみを行き来する事が多く、音楽を聞く・歌う・演奏する楽しみを職員や仲間と分かち合う。この活動が現在ご利用されている方々の心の支えとなっている様子を保護者さんからお聞きします。まだ、NPOとしては認知度が低いため、広く障害をお持ちの方に体験していただきたいと考えています。近年障害をお持ちの方が町に出る場面は増えてきていると思いますが、ご家庭の事情もあり、都心のコンサート会場まで足を運ぶところに至らない方も多いです。是非、プロの音楽家の生の音を体験してほしいと考え企画しました。

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

感じる音楽ワークショップ「ドレミの仲間」発表会&コンサート  
パーカッショニスト音楽家をを招いてのコンサート  
発表会ではドレミの仲間での活動をしているか紹介致します。コンサートではプロのパーカッショニストの演奏があります。ご覧いただいているみなさんも知っている曲に合わせて世界中のいろいろな楽器を演奏体験できます。『あなたも私もあつという間にミュージシャン!』ご家族皆様までご参加下さい。

### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

OUTPUT 今回の発表会&コンサートは全2回、参加者は会員(65名)をはじめ、家族(76名)、他施設等に配ったパンフレットを見てご来場された方は(28名)。

OUTCOME 発表の内容はバラエティに富み見ごたえのあるものでした〜とアンケートで評価を受けています。コンサートは、パーカッションを軸に4人の打楽器奏者を招き、大変面白く、良かったとの評判でした。プロの演奏を目の前に、利用者の皆さんはとてもいい笑顔で参加されていました。また、今回ワークショップ形式で会場のみなさまにガラクタ楽器(日常にあるフライパン・ペットボトルやダンボール箱等)の演奏をお願いしました。利用者さん・保護者の方・外部参加者の方も、会場の皆さんが楽しんでご参加下さいました。

IMPACT 今回のコンサートに参加して今後入会を考える〜2名ほどいらっしゃいました。

「ドレミの仲間」は2016年度町田市の補助金の削減に伴い〜署名活動を展開〜余暇活動の大切さを訴えてきました。町田市議会の福祉常任委員会に案内、6名の市議会議員が来場されました。挨拶をして帰られる方もいましたが、中にはずっとコンサートに参加され楽しまれている議員さんもあり、帰られる時に「ドレミの仲間の必要性が解りました」という言葉をいただきました。何と云ってもこの言葉が嬉しく、そして「来て体験していただければわかっていただけ」…という確信を持ちました。

## 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

コンサート終了後、アンケートを元に理事長・施設長・理事・職員での最終実行委員会を行ないました。

今回の『感じる音楽ワークショップ「ドレミの仲間」発表会&コンサート』は盛りだくさんの内容で、充実していた、と評価されています。ワークショップはとても評判が良かったのですが、反面、時間的には目一杯となり、利用者のみなさんが楽しみにしている「自由に楽器を演奏・体験できるコーナー」が少なくなってしまったのは事実です。

プログラムの上で「発表会」と「コンサート」を分けて開催することも考慮に入れ、次回の開催に向けて検討していきます。

今後とも「発表会」と「コンサート」を企画実施し、広く「ドレミの仲間」の活動を知っていただくと共に、賛助会員を増やし、活動の母体を大きくして行くことで継続的な活動ができる様に、と考えています。

## 7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり



